

「地上の星として輝こう」(2-21.6.20)

すべてのものは光にさらされて、明らかにされます。明らかにされるものはみな、光となるのです。それで、こう言われています。「眠りについている者、起きよ。死者の中から立ち上がれ。そうすれば、キリストはあなたを照らされる。」(エフェソ 5:13,14)

雨上がりの朝、陽の光に照らされた歩道がキラキラ輝いていました。あまりの美しさに近寄ってみたら、正体は歩道に混ぜられていたガラスの粒でした。雨に濡れたガラスの粒が光を反射して輝いていたのです。普段は誰にも気づかれず、歩行者の足を支えている歩道の小さなガラスの粒。でも、雨に濡れ、光を反射して美しい光景を演出していたのです。

砂漠に百合が咲くように、地上にも星があります。イエス様です。そのイエス様が「あなたがたは世の光である。」(マタイ 5:14)と言われたのです。私たちは自分をこの世では無きに等しい者と思うかもしれませんが、しかし、神様の目からはそうではない、キラキラ輝く地上の星なのです。なぜなら、上掲のみ言葉によれば、キリストの光に照らされた者は光になるからです。信仰をもって立ち上がった私たちはキリストに照らされ、その光を反射している光なのです。



中島みゆきの歌に「地上の星」という歌があります。NHKの「プロジェクトX」という番組の主題歌です。「燕よ、地上の星は今どこにあるのだろうか？」と問いかけます。間違いなく地上の星は、諸教会にあったし、今もあるのです。そこで秋田地区も「プロジェクトX」、すなわち「秋田の信仰者たち」という企画を立ち上げました。社会委員会が編集委員となって、地区諸教会からすでに召された方一名の紹介を受け、16名の信仰の先達の文集を作ろう、というのです。横手教会は、この度はW兄にしました。お孫さんにあたるW兄とN姉(秋南教会)に承諾を得まして、関係資料も戴きました。11月の聖徒の日までには発行したいとのこと。ちょっと資料を見ますと、W兄、函館で石川啄木と同じ下宿で、将棋を指す間柄だったようです。出来上がるのが楽しみです。

W兄に限らず私たちはみな、イエス様の光を反射する世の光であり、地上の星です。たとえ小さく、誰に知られなくても、イエス様の光を受けて輝くのです。ですから、主の愛という光をいっぱい受けて、いつも喜んで生きたいですね。